

ARIBからのお知らせ

【情報通信月間参加行事】

「周波数資源開発シンポジウム2010」開催のお知らせ
－近距離ブロードバンドワイヤレスの技術動向－

社団法人電波産業会は、「周波数資源開発シンポジウム2010－近距離ブロードバンドワイヤレスの技術動向－」を、独立行政法人情報通信研究機構と共催します。

近年、数メートルの近距離で家庭内情報通信機器間のデータ通信を行う家庭内ワイヤレスブロードバンドに注目が高まっており、昨年のシンポジウムでは「家庭内ワイヤレススーパーブロードバンド」をテーマに開催しました。

今回は昨年に引き続き、近年特に注目を浴びている近距離ブロードバンドワイヤレスに焦点をあて、さらに近距離で使われるボディアリアネットワーク (BAN : Body Area Network) 、超広帯域で近距離通信を行うUWB (Ultra Wide Band) 、気候温暖化対策で急速に期待が高まるスマートグリッドで使用されるセンサーネットワーク (SUN : Smart Utility Networks) 等の技術動向や標準化動向などについて専門家による講演を行います。

研究者や専門家のみならず、多くの方の参加を心からお待ち申し上げます。

- 1 日時 : 平成22年6月30日(水) 13:00～
- 2 場所 : コクヨホール (東京都港区港南1-8-35)
- 3 主催 : 社団法人電波産業会
独立行政法人情報通信研究機構
- 後援 : 総務省 (予定)
- 協賛 : 情報通信月間推進協議会
- 4 テーマ : 「近距離ブロードバンドワイヤレスの技術動向」
- 5 定員 : 250名
- 6 参加費 : 事前申し込み登録により無料
- 7 申込み先 : 当会の「講演会等開催案内」のページ
(<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 8 問合せ先 : 当会 小岩井、波戸 (03)5510-8593

講習会「ARIB技術資料 ファイルベースによる番組交換方式 1.0版紹介」を開催

5月26日(水)に、講習会「ARIB技術資料 ファイルベースによる番組交換方式 1.0版紹介」を当会会議室で社団法人映像情報メディア学会 (ITE) の協賛を得て開催しました。

本ARIB技術資料は、最新の映像機器やシステムに適した番組交換の要望に対応するため、放送局及びメーカーの専門家が長年の経験、知識及びSMPTE規格を元に議論を重ねて、4月26日の第76回規格会議で技術資料ARIB TR-B31として策定されたものです。

本講習会では、ARIB TR-B31の策定に関わったスタジオ設備開発部会放送素材ファイルフォーマット検討作業班のメンバーに技術資料の内容をわかりやすく解説していただきました。

講習会には定員を超える参加申し込みがあり、最後に質疑応答が行われました。

当日のプログラム内容と講演者は以下のとおりです。

No.	プログラム内容	講演者
1	開会とセミナー企画意図	(株)TBS テレビ 本間 康文 氏
2	TR-B31 の全体概要	(株)TBS テレビ 内海 章博 氏
3	第二章 スコープ	(株)テレビ東京 石田 秀徳 氏
4	第三章 MXF 規格の解説	(株)朝日放送 新田 威史 氏
5	第四章 映像/音声データのファイル化	パナソニック(株) 大高 秀樹 氏 ソニー(株) 中野 宏 氏
6	第五章 字幕・補助データのファイル化	(株)フジテレビジョン 井村 紀彦 氏
7	第六章 番組交換メタデータ	日本テレビ放送網(株) 菊地 秀彦 氏
8	第七章 パッケージの配信	日本放送協会 新見 琢司 氏



講習会「ARIB技術資料 ファイルベースによる番組交換方式 1.0版紹介」の様子と本間康文スタジオ設備開発部会委員長(TBSテレビ)



内海章博氏



石田秀徳氏



新田威史氏



大高秀樹氏



中野宏氏



井村紀彦氏



菊地秀彦氏



新見琢司氏

講習会「ARIB技術資料 ファイルベースによる番組交換方式 1.0版紹介」の講師の方々

第169回技術委員会（放送分野）を開催

第169回技術委員会（放送分野）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成22年5月24日(月) 午後2時から3時40分まで
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要
 - (1) ARIB TR-B31「ファイルベースによる番組交換方式」の策定について報告がありました。
 - (2) AAC調整連絡会の活動の終了について報告がありました。
 - (3) 第2回ISDB-T国際フォーラムの開催について報告がありました。
 - (4) 照会相談業務について報告がありました。
 - (5) ARIB標準規格及び技術資料のホームページでの提供状況について報告がありました。

総務省からのお知らせ

コスタリカ共和国における地上デジタルテレビ放送日本方式採用の決定

【平成22年5月26日の総務省報道資料から】

現地時間5月25日、コスタリカ共和国は、同国における地上デジタルテレビ放送方式の規格として日本方式（ISDB-T方式）の採用を決定しました。

海外での日本方式の採用は、ブラジル、ペルー、アルゼンチン、チリ、ベネズエラ、エクアドルに続いて7番目の国になります。

1 コスタリカ政府による日本方式の採用

- (1) 総務省は、関係省庁、放送事業者、メーカー、研究機関等と連携しつつ、専門家を派遣してのセミナー開催や試験放送への協力など、コスタリカ政府関係者に対し、日本方式の採用に向けた働きかけを継続して行ってきたところ です。
- (2) この結果、ハイビジョン放送と同時にワンセグなどの移動端末向け放送サービスが提供可能であること、干渉に強く車内や山がちな場所においても良好に受信ができることなどが評価され、4月29日にコスタリカのデジタルテレビ検討委員会により日本方式の採用を推奨する旨の報告書が提出され、その後、5月25日に同国の地上デジタルテレビ放送方式として日本方式の採用を決定する旨の政令が官報で公表されました。

2 総務省の今後の取組

- (1) 総務省は、関係省庁及び関係機関と連携のうえ、コスタリカにおける日本方式の円滑な導入に向けて、技術協力、人材育成等の支援を実施していく予定です。
- (2) 今後とも、日本方式を採用した国々と連携しつつ日本方式の更なる海外普及に努めていきます。

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02tsushin08_02000006.html>をご参照下さい。

編集後記

最近、昼休み時間に某番組をワンセグで視聴するようになりました。

自宅でその番組をHDDレコーダに予約録画しているものの、小職の帰宅時間は家族が別のテレビ番組を見ていることが多く、また、朝の時間帯はニュース番組を優先して見たいため、なかなか自宅で視聴できません。そのため、しかたなく昼休み時間にワンセグで視聴することになりました。

家族は40インチのテレビで見ているのに、小職は携帯電話の3インチ画面で見えています。「なんで自分だけこんな小さな画面で見なければならぬんだ。」と思うこともたまにありますが、普段はそれほど不満を覚えません。とにかく視聴できるメリットが大きいことに加え、番組そのものがとても面白いためでしょうか。

ちなみに、自宅ではワンセグ放送を全く受信できませんが、ARIBが事務所を構える日土地ビルは東京タワーが直接見えるだけあり、ワンセグ受信は良好です。

(編集子:PAO)

[ページの先頭に戻る ▲](#)